

# 住宅・建築物の 耐震化を支援します！

拡充

今後の地震に対する備えとして、  
耐震化支援制度を緊急的に拡充

ポイント

自己負担を大幅に軽減し、耐震化を加速

令和6年能登半島地震では、木造住宅にも甚大な被害が発生しました。府内においても今後の地震に備えるため、過去最大の予算を確保。短期間で耐震化を強力に促進します。

▶ いずれも昭和56年5月以前に着工した建築物が対象



耐震博士ねんねこ

## ■ 木造住宅耐震化支援

耐震改修の  
補助基本額

現状 125 万円

150 万円  
に引き上げ

補助額が  
最大25万円  
アップ!

耐震改修の  
補助率

現状  $\frac{1}{5}$

$\frac{1}{3}$   
に引き上げ

## ■ 大規模建築物※耐震化支援

耐震改修の  
補助率

1.5倍  
に引き上げ

(最大8.625%)

耐震改修の  
補助対象

「除却」を追加

「除却」とは

耐震性が不足する建築物を  
建て替え等のために解体し、  
全て除去すること

※大規模建築物=不特定多数の者が利用する大規模な建築物など

昭和56年5月31日以前に建築された建築物のうち、病院、店舗、ホテル等の不特定多数の者が利用する建築物及び学校、老人ホーム等の避難弱者が利用する建築物で一定規模以上の建築物をいいます。



京都府建設交通部建築指導課

Tel : 075-414-5346

Mail : kenchiku@pref.kyoto.lg.jp